

〔(株)金沢ちはらファーム〕 (石川県金沢市)

WEBサイト：<http://chihara-farm.com/>

視察受入れ：可 報道機関受入れ：可

- 石川県金沢市の(株)金沢ちはらファームは、NPO法人アスペの会石川と発達障がい者を持つ親たちの出資により、2012年4月に設立された。
- 人手不足等で耕作放棄地となった中山間地域の農地を借り受け、発達障がい者のための就農支援と地域活性化を目的に、ブルーベリー(ポット1,200鉢)などの栽培や加工品の製造・販売に取り組んでいる。
- 従業員の2名の他、発達障がい者1名を雇用し、不定期的に勤務する発達障がい者10名を含め「農業人」として育て、独立が実現できるサポートを目指している。

取組の内容

- ◆ 耕作放棄地を発達障がい者やその家族で少しずつ草を刈り、ブルーベリーのポット栽培や、紫草(ムラサキ)等を栽培。
- ◆ 周年作業を確立するため、栽培するブルーベリーの多品種化や自社製品等の6次産業化を図り、儲かる農業につなげる。
- ◆ 発達障がい者が社会とのつながりを保つため、「農業による社会貢献」を地域貢献と共に進める。
- ◆ 地域に賦存する資源等を活かし、発達障がい者の就農機会と事業拡大を行う。

取組の効果

- ◆ 耕作放棄地を借り受け、地域の方々と協力して再生。現在、約110aのほ場を確保。
- ◆ 約20品種のブルーベリーを導入して、7月から9月上旬までの出荷を実現。さらに、ブルーベリーを使ったジャムやカレー、地元果樹のフルーツチップの製造・販売により作業の周年化を実現。
- ◆ 個々に合った仕事を見つけ、能力を活かすことによって、「成長の機会」につながっている。
- ◆ 今後は、金沢の奥座敷「湯涌温泉」等の観光施設とのタイアップ等を通じ、「金沢ちはらブルーベリー」の高付加価値化を目指していく。

ブルーベリーのポット栽培



紫草(ムラサキ)の収穫



ブルーベリーの選別作業



地域での販売風景

